

「省エネチェック」を使用した 家庭へのCO2排出量削減及び COOL CHOICE啓発活動

- 実践事例紹介 -



平成31年1月10日
省エネアドバイスチーム

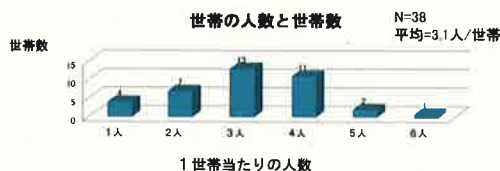
1.活動のねらい

- 「省エネチェックソフト」を使つての家庭のエコ啓発活動を実践して4年目になる。今年は参加ご家庭の対策項目を増やし、CO2削減等地球温暖化対策への寄与を着実にを行うことを方針に活動を実践致した。
- 又、今年度からスタートしたCOOL CHOICE「とちぎ」活動との連携を図るため、特に電化製品の買い替え時のポイント及びメリットの提案ができるような情報発信を念頭に進めた。

活動事例紹介

エコテック&ライフ2018への参加

- 場所：マロニエプラザ
- 日時：平成30年12月2日 10時～16時
- 実施チーム員：8名
- 参加家庭：38世帯
- 参加家庭のプロフィール



省エネチェック実施風景(宇都宮市南図書館)

家族連れの参加が多く環境への関心の高さが伺えた。



省エネアドバイスチームブース



賢い省エネ家電選びの説明パネル



省エネチェック診断風景

参加家庭の推定CO2排出量と 栃木県平均排出量との比較



今回参加した家庭の推定CO2排出量は
栃木県平均に対して約11%少なかった。

(注) 推定CO2排出量は、省エネチェックが計算した推定値であり参考値である。

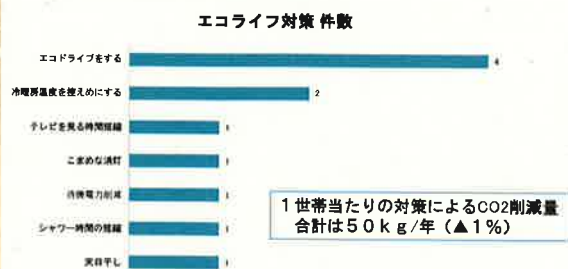
参加家庭の光熱費比較



ガソリンを除き、電気、ガス、灯油共 県平均より少ない。ガソリンは栃木県特有の保有台数が多いこと、走行距離が長いこと等が考えられる。又、太陽光発電が6世帯 オール電化が6世帯あるためか、電気とガス、灯油の使用量が県平均と比べ低い。
(県平均と参加家庭との差については参考値)

参加家庭が選択した対策（続き）

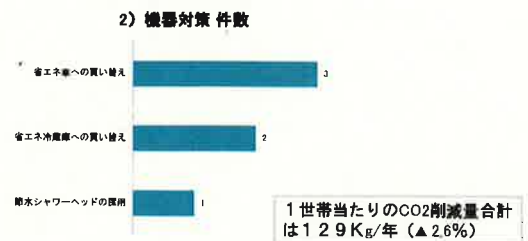
② エコライフでの対策



エコライフ対策では「ドライブ」とシャワー時間の短縮、冷暖房の設定温度を控えるに上位占めている。対策によるCO2削減量（受診者平均）は1%程度であった。

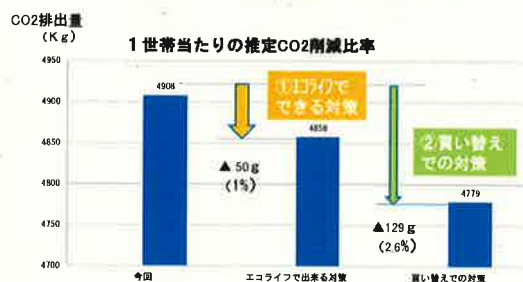
参加家庭が選択した対策（続き）

② 買い替えでの対策



省エネ車への買い替えが各3世帯、省エネ冷蔵庫への買い替えが2世帯、次いで節水シャワーヘッドへの買い替えが1世帯であった。

推定CO2削減量の削減比率



1世帯当たりの推定CO2削減率は、平均値で「エコライフで出来る対策(1%減)+買い替えでの対策(2.6%減)=▲3.6%年間179gの低減相当となる。

注) 各対策の推定CO2削減量は、省エネチェックが計算した推定値であり参考値である。

6.活動実施しての特記事項

- 1) 親子や家族連れでの参加が多く、**省エネへの関心を高める機会を提供できたと思われる**
- 2) 太陽光発電を実施している参加者が38世帯中6世帯(16%)、アンケートの結果でもエコキュート使用家庭が8/37(22%)世帯、節水型シャワーヘッドの採用が9/36(25%)、待機電力低減用コンセント採用が15/32(47%)と**エコ設備利用の家庭が増加している傾向があり、エコ啓発活動の浸透が感じられる。**
- 3) エネルギーの使用実績が県平均との比較で把握でき、**見直しのきっかけになった(55%)との反響が多かった。**

7. 今後の予定

省エネチェックを使った啓発活動の追加実践

・エコまつり(宇都宮市環境学習センター主催)

日時: 平成31年3月2(土)~3日(日)

10時~15時

場所: 学環境学習センター1階展フロア

参加予定: チームより6名

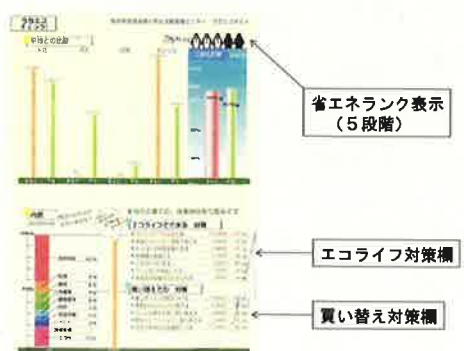
3月2日(土) 福永、石川、小島

3日(日) 福田(隆)、則包、鈴木

ポイント:

エコライフ及び買い替えでの対策件数を増やす(省エネレベル2ランク以下の受診者には1件以上の対策項目を提案して頂く様なアドバイスを心掛ける)

省エネチェック報告書



ご清聴ありがとうございました。



●省エネアドバイスチームメンバー
赤井勇夫 石川五郎 大沼晴彦
小島照美 鈴木康克 則包茂雄
福田隆男 福永久信
(五十音順) 計 8 名